

## 令和5年度社会福祉法人葵寮事業報告

### 1 法人運営状況について

救護施設においては、コロナの2度目のクラスターが発生したことにより業務の滞りがあったものの、事業計画は概ね計画どおり進んだ（一部6年度にずれ込みあり）。但し、社会福祉充実計画についてはあおいの家の建替え検討が進まず、将来的な資金計画も踏まえて令和6年度中に計画の変更を検討する必要がある。

婦人保護施設については、女性自立支援施設への名称変更、指定管理の更新があった。他、静岡県の内  
部監査における給食費支出の指摘等があり、こども家庭課にて改善実施済みだが、令和6年度にこの確認を受ける予定であるとのこと。

その他活動として、社会福祉法人が取り組むべき「地域における公益的な取り組み」を与一公民館にて実施した。今後も定期的に継続予定。

#### ①法人運営について

将来の施設建替えを見据えた資金計画の必要性があったため、現状で予測可能な範囲での分析を行った。その結果、建替え資金（仮：初期費用として2052年度末までに310,000千円を想定）の捻出が困難な状況が予想された。課題は以下のとおり。

- (1) 職員勤続年数増加による人件費の増加
- (2) 施設の老朽化が進むことによる設備整備費の増加
- (3) 社会福祉充実計画による短期的な資金減少
- (4) 利用者数の維持継続（80名以上が必要）但し、高齢化が進んでいる。

これら課題については静岡市に相談しており、その解決策に関する法的な実施可否等について助言を受けているため、今後も検討を進め、令和6年度から順次実行に移していきたい。

#### ②決算について

前年比として主な点を列挙（葵寮）。

- (1) 人件費：職員の再雇用・55歳以上昇給停止・コロナ対応の通常化等により1～2%の減少。
- (2) 生活保護事業費収入：平均在職年数が上がることによる民間施設給与等改善費（民改費）の増加があったこと、及び利用者数が83名であったこと等を踏まえ1～2%の上昇。
- (3) 水光熱費：10～20%の減少。
- (4) 積立資産支出：45,000千円から32,000千円と減少。但し、前期末支払資金残高は74,960千円から84,219千円となり、9,259千円増加。
- (5) 積立資産：493,035千円から498,144千円となり、5,109千円の減少。

未払い金等を考慮しない場合の葵寮の資金としては、(4)-(5)=4,000千円程度の増加となる。

## 2 会議

理事会：

日時：令和5年6月6日

議題：令和4年度社会福祉法人葵寮事業報告、令和4年度社会福祉法人葵寮決算及び資金運用状況、前期末支払資金残高の取崩、給与規程の一部改正、理事（候補者）の選出、監事（候補者）の選出、評議員（候補者）の選出、評議員選任・解任委員会の開催、第155回評議員会の開催

日時：令和5年6月26日

議題：理事長の選任、業務執行理事の選任

日時：令和5年11月10日

議題：令和5年度補正予算案、静岡県婦人保護施設清流荘管理規程の一部改正、第156回評議員会の開催

日時：令和6年2月28日

議題：令和5年度補正予算案、令和5年度施設整備積立金・人件費積立金の取崩、令和6年度事業計画案、令和6年度予算案、令和6年度資金運用計画案、令和6年度施設整備積立金・人件費積立金の取崩、令和6年度給食業務委託契約の締結、定款一部改正、経理規程の一部改正、準職員就業規則の一部改正、婦人保護施設清流荘管理規程の一部改正、給与規程の一部改正、苦情解決制度の一部改正、施設長の選任、苦情解決第三者委員の選任、第157回評議員会の開催

評議員会：

日時：令和5年6月23日

議題：令和4年度社会福祉法人葵寮決算及び資金運用状況、前期末支払資金残高の取崩、理事（片井 寛）の選任、理事（井戸 一美）の選任、理事（岡田 貞夫）の選任、理事（斯波 幹和）の選任、理事（松田 康太郎）の選任、理事（近藤 操）の選任、理事（井上 彰作）の選任、監事（梅原 久義）の選任、監事（市川 賢二）の選任

日時：令和5年11月21日

議題：令和5年度補正予算

日時：令和6年3月7日

議題：令和5年度補正予算案、令和5年度施設整備積立金・人件費積立金の取崩、令和6年度事業計画案、令和6年度予算案、令和6年度施設整備積立金・人件費積立金の取崩、令和6年度給食業務委託契約の締結、定款一部改正

## 3 監事監査

第1回 令和5年5月16日 監査対象期間：令和4年12月～令和5年3月及び令和4年度決算

第2回 令和5年9月8日 監査対象期間：4月～7月

第3回 令和5年12月13日 監査対象期間：8月～11月

4 苦情解決第三者委員会

第1回 令和5年4月 葵 寮 : 55  
 清流荘 : 5  
 第2回 令和5年10月 葵 寮 : 44  
 清流荘 : 8

5 社会福祉充実計画

令和5年度の実施状況

No	計画・件名	実施月	支出額	備考
1	利用者ベッドの電動化	5	219,800	
2	受電設備取替	5	592,900	
3	1Fさくら給湯器	7	99,000	
4	車両(NV200バネット)	8	2,870,000	
5	サーバー更新	9	1,760,000	
6	支援システム更新	9	3,239,500	
7	施設内扉の修理	9	1,067,000	
8	厨房雨漏り補修	10	1,386,000	
11	勤怠給与システム整備	通年	405,900	
12	NW配線	12	99,000	
12	共有部照明LED化	1	3,850,000	
13	集会室LAN敷設	12	99,000	
14	人員増強	通年	3,326,000	
	合計		19,014,100	

計画達成状況	実施期間	使用額	
	R3-R7	55,247,000	

6 地域における公益的な取り組み

令和5年度の状況

実施内容 : 福祉相談事業 (電話での福祉相談) 件数 : 0

レクリエーション等地域共有事業 件数 : 1

2 救護施設運営状況について

葵寮は、生活保護法第38条の規定に基づき、身体上又は精神上著しい障害があるために日常生活を営むことが困難な要保護者を福祉事務所の措置により入所させて、生活扶助を行うことを目的とする救護施設であるが、近年は、セーフティーネットとしての機能を果たすべく、障害者だけでなく、ホームレス、DV被害者、触法者など地域において生活することが困難な者なども幅広く受け入れをしている。

また、利用者の自立の助長を図るため、利用者個人の意向をできる限り尊重し、健康で安全な生活ができるよう支援を行っている。

令和5年度の実施状況は次のとおりである。

1 利用者の状況 R6.3.31 現在

(1) 保護実施機関別利用者数 (人)

	袋井市	島田市	藤枝市	三島市	焼津市	静岡市			富士市	富士宮市	沼津市	御殿場市	伊豆市	牧之原市	県賀茂	伊東市	その他	計人	
						葵区	駿河区	清水区											
男	0	7	1	2	4	11	3	7	1	1	3	0	1	1	1	1	1	1	45
女	1	5	1	1	1	15	6	2	1	1	1	2	1	0	1	0	0	0	39
計	1	12	2	3	5	26	9	9	2	2	4	2	2	1	2	1	1	1	84

(2) 年齢別構成 (人)

	40才未満	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	才	計人
男	1	4	13	14	11	2		45
女	1	2	7	10	15	4		39
計	2	6	20	24	26	6		84

平均年齢64.9才 (男 62.8 女 67.1)

最高 男93才 女90才 最低 男39才 女36才

(3) 入所期間別構成 (人)

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	計人
男	20	12	5	4	4	45
女	9	9	7	3	11	39
計	29	21	12	7	15	84

平均入所期間 12年1ヶ月 最長入所期間 57年9ヶ月

## (4) 障害別構成 (人)

	知的障害	精神障害	身体障害	精神障害	知的障害	精神障害	身体障害	知的障害	身体障害	知的障害	身体障害	その他	計人
男	5	33	1	3	1		0	0		0		2	45
女	10	15	0	10	2		1	0		0		1	39
計	15	48	1	13	3		1	0		0		3	84

## (5) 月別利用状況 (1日付) ※ ( ) は1日付入所

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計人
初日在所者数	84	84	82	82	82	82	82	82	82	(84)	(85)	86	
入所		1		1					1	(1)	1(1)	1	7
退所	入院												
	他施設		2									2	4
	社会復帰											1	1
	帰宅												
	死亡		1		1								2

## (6) 一時入所

施設入所の体験利用として一時入所の受け入れを行った。

利用者 1名 1回 延利用日数 14日

## 2 処遇の状況

## (1) 集団支援

集団生活を送るため、起床から就寝まで最小限度の日課を定め、生活に必要な当番、作業、レクリエーション、リハビリ等の活動メニューを用意して、各人が生活意欲をもって過ごせるよう支援した。

## (2) 個別支援

利用者ごとに希望要望を取り入れた支援計画を作成し支援を実施している。状況の変化に対応するためモニタリングを行い、常に利用者の立場に立った支援に心掛けた。

## (3) 就労自立支援

障害の程度や利用者の特性に合わせて複数の作業から選択して内職作業を行った。

新型コロナウイルスの影響で外勤に向けてのハローワーク、障害者職業センター等を利用する支援はできなかった。

## (4) 地域移行支援

設において自立に向けた訓練を行うとともに、訓練用住居にて、より居宅生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行うことにより地域への移行を支援した。令和5年度は2名が参加し、2名グループホームに移行した。

(5) 地域生活定着支援

地域へ移行した利用者に対しては、居住先を定期的に訪問し必要なフォローを行うことで地域生活が定着するよう支援した。

(6) 食事・栄養サービス

個々の身体的状況に応じた食事内容、病状に対応した食事内容の提供を実施した。

食事をとおして正しい食習慣を身につけ生活習慣病の予防に努めた。

食事は嗜好を配慮し、季節を感じる行事食を取り入れた。

食事をとおした楽しみとして定期的に自己選択できる選択食を実施した。

(7) 健康管理

集団生活をするうえで特に留意する必要がある感染性の疾患については、予防衛生に重点を置き、また年2回の定期健康診断のほか、嘱託医あるいは専門医による検診を随時行い、疾病の早期発見、早期治療に努めた。

(8) 環境衛生支援

明るく清潔で、静かな生活の場を提供し、衣服、寝具等も常に清潔を保ち、健康の保持と感染症の予防に努め、快適な環境づくりを進めた。

(9) 家族交流支援

両親、兄弟など家族のある者については、家族との連携を深めるため、利用者の日常動作、健康状態、近況、総合意見等生活状況を6月毎に報告した。家族からの希望により、面会、外出、外泊を行った。

(10) 健康維持・衛生支援

日常活動の行事とし実施している、毎日のラジオ体操と、日に2回の散歩を体力別に3グループに分けて行った。また、運動療法を外部専門家により実施し、心身の健康増進に努めた。入浴は毎週3回行い、希望者はユニットバスを利用し、個別入浴を行うことにより自立を促した。

(11) 教養娯楽活動

情操を豊かにし、運動不足の解消を図るため、施設内で毎週定期的にクラブ活動を行い、ダンスステップやヨガを体験した。また、住職による説法や写経、年数回の選択レクリエーション、カラオケ等を通じて心にゆとりのある生活ができるよう、教養娯楽の機会を設けた。

(12) 施設機能の開放

新型コロナウイルスの影響で中止をしていた施設の設備・機能の開放や、地域住民や学校等との交流を7月から再開した。

① 実習生の受け入れ1名あり。

(13) 金銭管理

金銭及び貴重品は、1Fダイルームにある個人金庫にて管理をし、自己管理が可能な方は自分用の鍵を持ち、自己管理が難しい方は職員の方でまとめて管理を行った。外出し銀行にて自分で入出金を行う支援は、新型コロナウイルスの影響で外出範囲が制限されている為中止した。

(14) 喫煙

喫煙は決められた時間・場所でマナーを守って行った。

(15) 外出・外泊支援

新型コロナウイルスの影響で中止していたグループ外出を7月より再開した。個人での外出は感染状況に応じて近距離のみとして許可し、徐々に行先を増やしながら実施した。近距離で購入できない必要物品に関しては職員が同行して購入した。家族との外出、外泊に関しても7月より再開した。

(16) 通院・デイケア

定期通院は職員付き添いのもと行った。デイケアは対象者が不在。今後希望者が出た所で再開する。

3 その他

(1) 防災訓練の実施

①総合防火訓練

年2回、施設内出火の想定で、自衛訓練を実施。避難誘導訓練のほか機材等の点検整備を行った。

(4月・11月) また、職員の手薄な夜間にも対応できるよう夜間訓練を行った。(7月)

②総合防災訓練

簡易トイレ確認、非常食・非常袋・医薬品・発電機作動の確認を行った。(9月・3月)

③水防訓練

洪水時の避難確保計画に基づき、利用者の避難誘導訓練を行った。(6月)

(2) 利用者との対話会等

- ・利用者の要望、意見を支援に反映させるため、毎月面接相談を実施した。
- ・利用者全体での対話会を年2回実施した。(※苦情解決第三者委員出席)

(3) 職員研修

職員の資質向上を図るため、施設内研修を実施するとともに、外部で実施される研修会にも可能な限り参加した。

・施設内研修

新任研修

消毒剤について

他、外部研修会を受けての内部研修会

- ・外部開催研修参加 8回 (リモート会議含む) 延べ参加者13人

(4) 施設設備整備等

第1号議案の社会福祉充実計画の実施状況のとおり

(5) 慰問・奉仕等の状況

実施時期	慰問者等の住所氏名	慰問等の内容
11/4	静岡英和女学院中学校・高等学校	歌
12/14	雙葉学園高等学校・中学校	クリスマス訪問・歌
12/16	A 'B23バンド	音楽演奏

(6) 物品寄贈

時期	寄贈者等の氏名	寄贈等の内容
6/6	理事長 斯波幹和様	飲料水
6/10	静岡英和女学院中学校・高等学校	生花
8/7	理事長 斯波幹和様	飲料水
12/14	静岡雙葉中学校・高等学校	寄付金 クリスマスカード
2/20	静岡英和女学院中学校・高等学校	寄付金

令和5年度事業報告に関する付属明細書

該当事項 なし